

無断転載禁止

道の駅「花ロードえにわ」の経済波及効果推計



2019年1月31日

株式会社道銀地域総合研究所

1.はじめに

- ・産業連関表とは、ある地域の一定期間(通常1年間)において各産業間で行われた商品やサービスの取引額を一覧表にとりまとめ、記録したものであり、地域経済循環の見取り図と言えます。
- ・現在、国土交通省北海道開発局作成の「北海道全域」と「道内6圏域」の産業連関表(平成23年表)がありますが、道内179市町村の中で独自に産業連関表を作成しているのは、札幌市と釧路市だけです。
- ・当社では、地方独立行政法人北海道立総合研究機構(以下、道総研)との共同研究により、ノンサーベイ法による道内179市町村単位の産業連関表を作成しました。また、市町村単位だけではなく近隣市町村や振興局単位でも作成可能です。
- ・産業連関表を用いることで、地域経済の構造が分析できるほか、特定の施策が各産業の経済活動に与える経済波及効果の計測ができます。

2.道の駅「花ロードえにわ」の概要

札幌市と新千歳空港を結ぶ国道36号線沿いという恵まれた立地から、優れた交通利便性を有しており、かつ、市民活動を中心とした「花のまちづくり」が注目される恵庭市の情報発信・地域交流拠点として、年間100万人を超える人々が訪れています。

- 住所 恵庭市南島松817番地18(国道36号沿い)

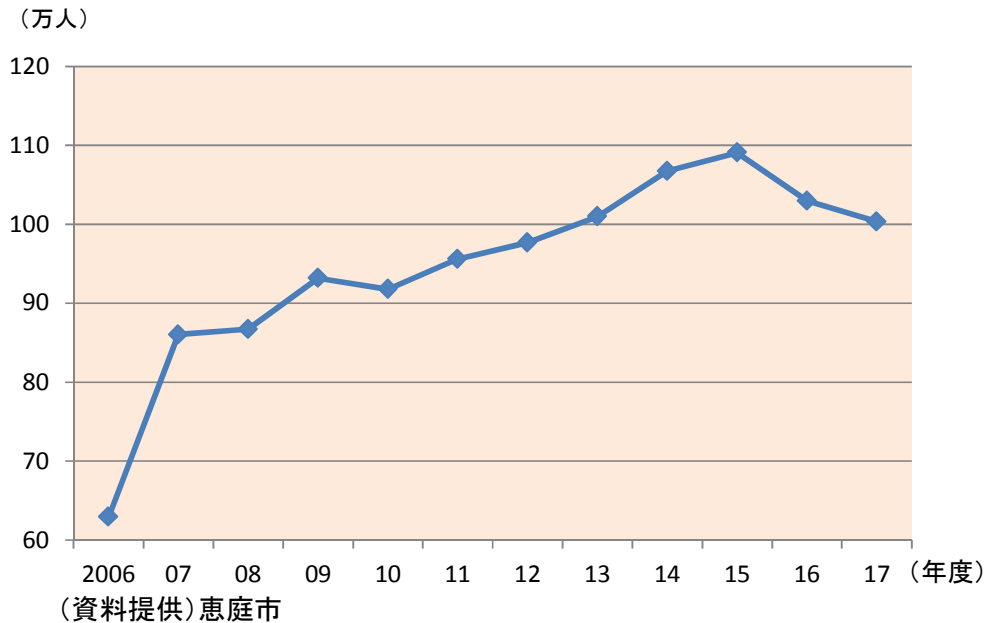


- 登録年月日 平成17年8月10日(2005年)、開業年月日 平成18年7月1日(2006年)
- 施設案内 駐車場(普通車46台、大型車16台、身障者用3台)、トイレ、ショップ、レストラン、喫茶・軽食、EV充電器、公園、など

2.道の駅「花ロードえにわ」の概要

●入館者数 1,003,228人(2017年度)

2006年度以降の入館者数の推移



道の駅の外観



(写真提供) 恵庭市

えにわマルシェの様子



(写真提供) 恵庭市

●国道36号線交通量

交通量の推移(恵庭栗山線-江別恵庭線、上下線合計)

	昼間12時間(台)			24時間(台)		
	小型車	大型車	合計	小型車	大型車	合計
平成17年	-	-	21,016	-	-	28,372
平成22年	15,700	3,284	18,984	21,140	4,678	25,818
平成27年	15,642	3,619	19,261	20,115	5,695	25,810

(資料)国土交通省「道路交通センサス」「全国道路・街路交通情報調査」

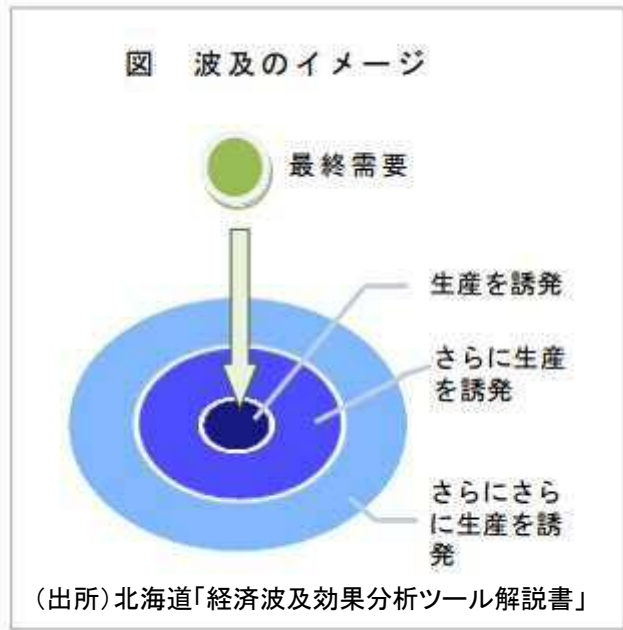
3.経済波及効果分析について

①経済波及効果とは

ある産業部門に最終需要(消費や投資等)が発生したとき、その産業部門の生産を誘発するとともに、原材料等を生産する他の産業部門にも次々と生産を誘発していくことをいいます。

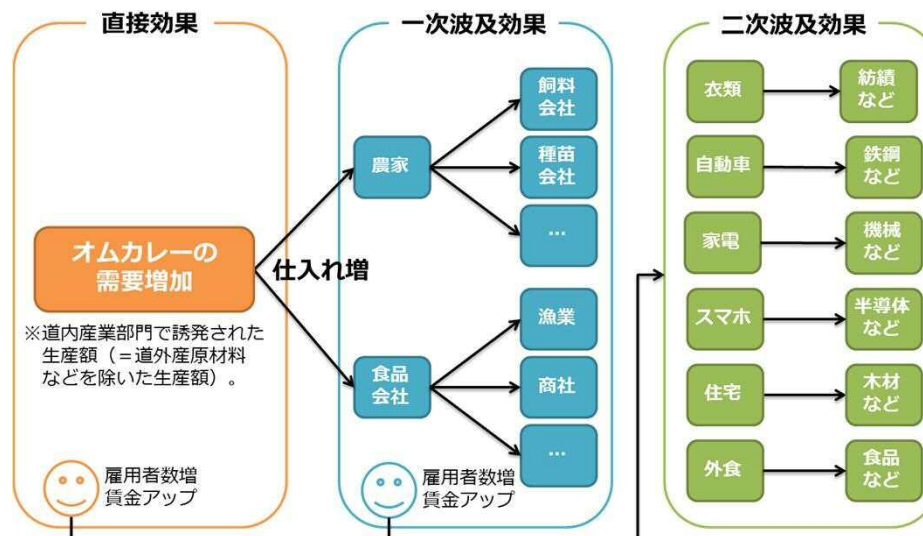
水面に投げ入れた石(最終需要)によって、次々と波紋のように波(他産業への生産の誘発)が広がっていく様子に、イメージが似ています。

(出所)北海道「経済波及効果分析ツール解説書」



②経済波及効果分析の流れ

直接効果、一次波及効果、二次波及効果の3つの効果について計算。それに伴い雇用や税収の波及効果も計算できます。



4.経済波及効果の推計方法

●経済波及効果の概要

- ・2017年度道の駅「花ロードえにわ」内での売上額による恵庭市内への経済波及効果を推計。

●前提条件の設定

①最終需要(「道の駅」の売上額)を算出

- ・各種資料から2017年度「道の駅」内での、物販店、レストラン、喫茶・軽食等の売上額を算出し、最終需要を求めた。

②産業分類仕分け

- ・直接効果を33産業分類に仕分ける。

③自給率の調整

- ・恵庭市内で調達が可能なのは、自給率を100%とする。

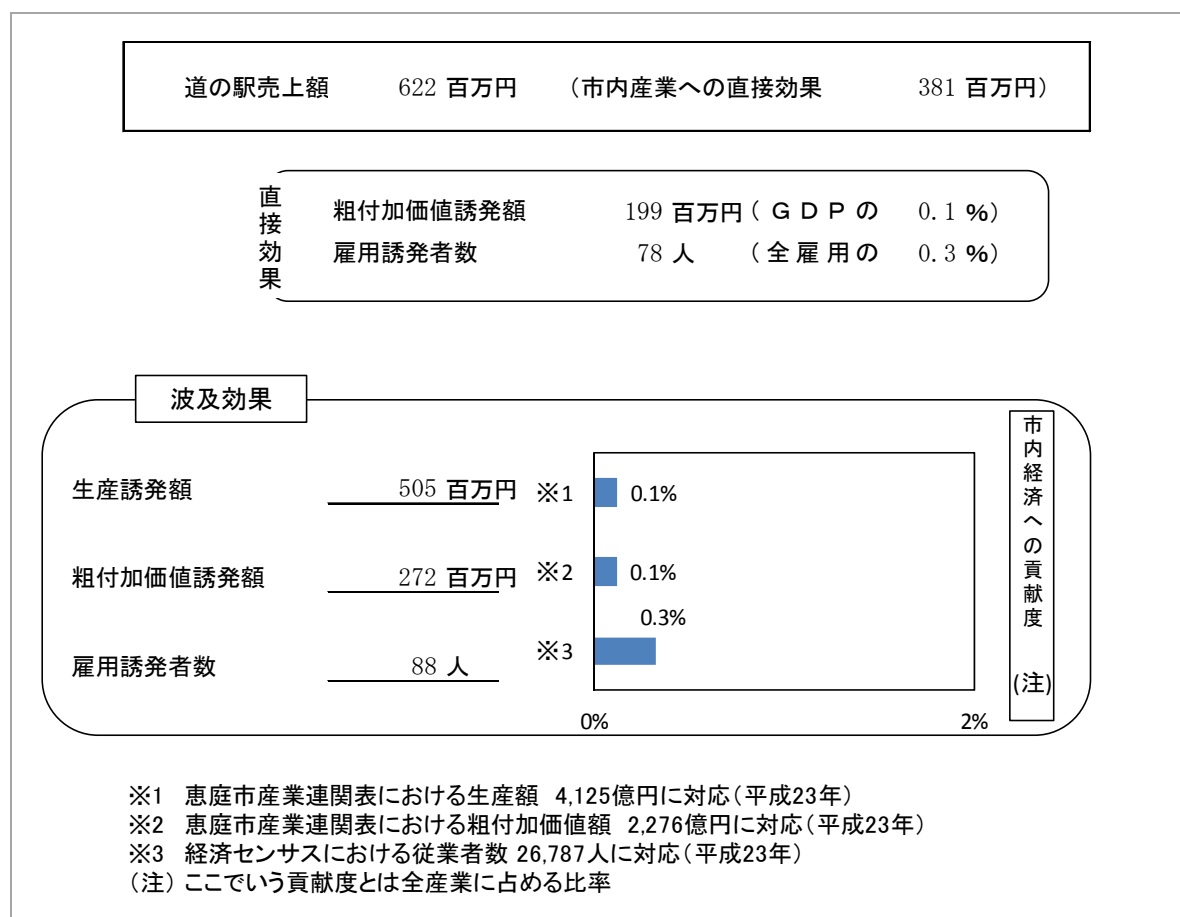
●推計方法

- ・国土交通省北海道開発局の平成23年北海道産業連関表を基に、当研究所で恵庭市の産業連関表(33部門)を作成し、経済波及効果を計算した。

5-1. 経済波及効果の推計結果(要旨)

●推計結果

- ・2017年度道の駅「花ロードえにわ」での売上額による恵庭市内への経済波及効果を推計した結果、直接効果が381百万円、生産誘発額が505百万円(直接効果の1.32倍)。
- ・雇用誘発者数は88人、税収効果は12百万円。



5-2.経済波及効果の推計結果(産業部門別)

道の駅による経済波及効果(総括表)

No	産 業 部 門	消費額	(単位:百万円)			(単位:百万円)			(単位:人)		
			生産誘発額			粗付加価値誘発額			雇用誘発者数		
			直接効果	直接+ 一次効果	直接+一次 +二次効果	直接効果	直接+ 一次効果	直接+一次 +二次効果	直接効果	直接+ 一次効果	直接+一次 +二次効果
1	耕種農業	261	175	177	177	87	88	88	37	37	37
2	畜産	0	0	6	6	0	2	3	0	1	1
3	林業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4	漁業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5	鉱業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6	食肉・畜産食料品	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0
7	水産食料品	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0
8	その他の食料品	4	1	10	14	1	4	5	0	1	1
9	繊維	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10	木材・家具	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11	パルプ・紙	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0
12	印刷・製版・製本	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13	化学製品	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14	石油・石炭製品	0	0	4	6	0	1	2	0	0	0
15	皮革・ゴム	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16	窯業・土石製品	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0
17	鉄鋼・金属製品	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18	機械	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
19	その他の製造品	30	2	2	2	1	1	1	1	1	1
20	建築・土木	0	0	2	2	0	1	1	0	0	0
21	電力・ガス・水道	0	0	4	6	0	2	3	0	0	0
22	商業	172	48	57	63	34	39	44	9	11	12
23	金融・保険・不動産	0	0	6	27	0	5	22	0	0	0
24	運輸・郵便	40	40	45	48	29	33	35	5	5	6
25	情報通信	0	0	1	2	0	1	1	0	0	0
26	公務	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
27	公共サービス	0	0	1	9	0	1	5	0	0	1
28	事業所サービス	6	6	13	15	3	8	9	0	1	1
29	宿泊業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30	飲食サービス	109	109	109	112	45	45	46	27	27	27
31	その他個人サービス	0	0	0	5	0	0	3	0	0	1
32	事務用品	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
33	分類不明	0	0	3	3	0	1	1	0	0	0
合 計		622	381	448	505	199	235	272	78	83	88

	道の駅売上額	(単位:億円)			(単位:億円)			(単位:人)			
		生産誘発額			粗付加価値誘発額			雇用誘発者数			
		直接効果	直接+ 一次効果	直接+一次 +二次効果	直接効果	直接+ 一次効果	直接+一次 +二次効果	直接効果	直接+ 一次効果	直接+一次 +二次効果	
道の駅の売上額による経済波及効果		6	4	4	5	2	2	3	78	83	88
産業全体に占める割合※			0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.3%	0.3%	0.3%
乗数(生産誘発額÷直接効果)				1.17	1.32		1.18	1.37		1.07	1.13

※産業全体に相当する数値

平成23年恵庭市産業連関表市内生産額	平成23年恵庭市内総生産(名目GDP)	平成23年経済センサス従業者数
0.4兆円	0.2兆円	2.7万人

5-3. 経済波及効果の推計結果(税込効果)

道の駅による税込効果

(単位: 百万円)

区 分	税込係数	直接効果	計	税込効果	
				直接+一次	第二次間接効果
直接税	個人	4.3%	7	8	1
	法人	0.6%	2	3	0
間接税	0.2%	0	1	1	0
合 計	—	10	12	11	1
市内の全税込に占める割合※	—	0.1%	0.2%	0.1%	0.0%

※全税込に相当する数値

平成28年度市税込収入(決算額)
7,883 百万円

5-4.経済波及効果の推計結果(まとめ)

●まとめ

- ・2017年度道の駅の売上高による経済波及効果(=生産誘発額)は505百万円と、市内生産額の0.1%を占め、恵庭市での法人市民税収入(約5億円)、たばこ税収入(約4.6億円)に匹敵する規模となっています。
- ・この数年、石狩管内の近隣市町(千歳市、石狩市、当別町)で道の駅のリニューアルやオープンなどを背景に、入館数は横ばい傾向にありますが、年間約100万人を超える利用者を維持しており、地元への貢献は極めて大きいと言えます。
- ・恵庭市では、道の駅隣接地約6.1haに、「花のまち恵庭」の観光拠点を整備することにより、来訪者の満足度を高め観光客の一層の誘客を図る“花の拠点基本計画”を、平成28年11月に策定しました。この計画では、駐車場や農畜産物直売所など「道の駅の拡張」、「宿泊施設の整備」、「旧保健センターを活用した花の拠点センターハウスの整備」などを推進する予定です。平成32年度の供用開始後は、さらなる経済波及効果が期待できるとみられます。

※花の拠点基本計画については、恵庭市の公式ウェブサイトから閲覧ができます。

<http://www.city.eniwa.hokkaido.jp/www/contents/1480401258207/files/hananokyotenkihonkeikaku.pdf>

- ・当研究所の使命は、「北海道」という地域の特性を理解し、地域の成長に貢献することです。そのために、北海道銀行グループの一員として、様々なノウハウや手法を活用し、地域の問題解決をサポートいたします。
 - ・今回ご紹介した「市町村産業連関表」を提供することで、特定の施策が各産業の経済活動に与える経済波及効果の計測が可能となり、様々な政策立案の参考になると考えております。
- ・ご関心がございましたら、お近くの道銀本支店窓口、または直接当研究所にご連絡いただければ、幸いです。

ご連絡先 株式会社道銀地域総合研究所 石水・飯田

所在地:札幌市中央区大通西4丁目1番地 道銀別館ビル6階

T E L :011-233-3562

U R L :<http://www.lilac.co.jp.doginsoken>